

HPVは性行為によって感染し、感染が持続すると、やがて癌になることがあるとわかってきています。性体験の若年化にとともに20代・30代の子宮頸がんが増加しています。

◎HPV (ヒトパピローマウイルス
・ヒト乳頭腫ウイルス)

HPVは、乳頭腫(いわゆるイボ)のウイルスで150種類以上あり、皮膚につく型と粘膜につく型があります。子宮頸がんの原因になるHPVは粘膜型で、さらに、子宮頸がんを引き起こすHPVは「高リスク型HPV」と呼ばれ、「高リスク型」は13種類あります。

HPVは性行為により感染するありふれたウイルスで、性交経験のある女性の半数以上はHPVに感染(女性の約80%は知らない間に感染)しているといわれています。感染しても徴候や症状を現さず、がんになっても末期まで無症状なこともあり、発見を遅らせている原因となっています。

◎子宮頸がんを発見する方法(検診)

①細胞診…子宮頸部から細胞をこすり取って、細胞を染めて、顕微鏡で観察する。

②HPV検査…子宮頸部から細胞をこすり取り、細胞にいるウイルス遺伝子を機械で測定する

①②を併用することで、子宮頸部の「前がん状態」をより確実に発見でき、早期に発見すれば治療して治ります。ただし、検診でのHPV検査は、自治体により異なり、行っていない市町村が多いです。現在、厚労省は、20歳からの子宮頸がん検診を推奨しています。

◎予防対策

- ・男性も女性も「清潔」を心がけましょう。
- ・性体験のある女性は、(毎年1回)子宮がん検診を受診しましょう。
- ・HPVワクチン接種していても、子宮がん検診を受診しましょう。

・HPVとは無関係の子宮がん「腺癌」もあります。HPV陰性でも安心は禁物です。

(HPVワクチンに関する見解は様々です。ここでは敢えて触れないこととします。)



皆さん、毎日が暑いですね。良く水分を取ってよく眠りましょう。

先日の研修会では、懇親会のみでの参加で大変心苦しかったのですが、懇親会に参加できて楽しかったです。有難うございました。

さて、芳村さんから「岩と砂と水」の話をもう少し聞きたいというリクエストがありましたので、下記に書いておきますね。また、感想を聞かせてください。

「三種の文字」

清水 成真

「この世の中には3種類の人があります。岩に刻んだ文字のような人と、砂に書いた文字のような人と、水に書いた文字のような人があります。」

岩に刻んだ文字のような人とは、しばしば腹を立てて、その怒りを長く続け、怒りが、刻み込んだ文字のように消えることのない人のことを言います。

砂に書いた文字のような人とは、しばしば腹を立てるが、その怒りが砂に書いた文字のように速やかに消え去る人です。

次ページに続く

鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信71号
鳥取県青少年育成アドバイザー協議会
発行日 2016. 8. 25
編集 芳村恵子

平成 28 年度 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会 第 1 回研修会

日 時 平成 28 年 7 月 31 日 (日)
午後 2 時～午後 5 時
場 所 県立倉吉体育文化会館
出席者 山本会長 田中寛一 西浦公子
石田容子 新川裕二 井上廉女
東邦子 西上洋治 松原厚子
清水成真 植嶋しのぶ 西垣康正
芳村恵子

全日本アド連特別表彰
第 1 期 山本 邦彦氏
田中 寛一氏
全日本アド一般表彰
森岡 敏人氏

長年のご活躍に心より敬意を表します。
今後も我々のお手本とさせていただきます。

* 「全日本青少年育成アドバイザー連合会
総会について」の報告及び協議

* 研修
「植嶋さん、青少年育成について語る」
講師 植嶋しのぶ氏

参加されなかった方にも知って頂きたいと
ポイントをまとめて頂きました。

青少年の心と体の育成を!!

「守ろう、この病気から 青少年を」
—20代・30代の子宮頸がんが増加
なぜ?—

植嶋しのぶ

◎はじめに

「子宮癌」というと、「女性の病気」と、
男性には全く関係のない、あまり興味のない
事柄だと思われてはいないでしょうか?
その大きな原因が、女性だけの責任ではなく
男性側にもあるとしたら・・・。

子宮癌の多くは、ごくありふれたウイルス
感染によって引き起こされる病気です。
日々、癌細胞を見つけている現場では、近
頃やけに「ウイルスに感染した細胞」や「癌
になりかけの細胞」が10代、20代前半の
女性に多くなっていることが気になってい
ました。大きく傷つき悩み、精神的にも肉
体的にも苦痛が大きいのは女性です。

男性側も女性側も、子宮頸がん発生の実
態を知って予防し、ウイルス感染によって
おこる「異変」をできるだけ早く見つける
ことが大切です。

◎子宮がん検診の実態

40歳以下の女性では子宮がんが、がんの
第1位を占め、20歳代の発病率が、過去15
年で10倍以上増加しているのが実態です。
しかし日本は、他の国々に比べて子宮がん
検診の受診率が低く、自治体が行った調査
では、子宮頸がん検診の20代前半の受診率
は約5.5%にすぎません。

◎子宮頸部がんの原因

子宮頸がん罹患した人を調べてみると、
その93～97%の人がHPV(ヒトパピローマ
ウイルス)に感染しています。

裏面に続く

水に書いた文字のような人とは、水の上に文字を書いても、流れて形にならないように、他人の悪口や不快な言葉を聞いても、少しも心に跡を留めることもなく、温和な気の満ちている人のことを言います。

怒りは人間に与えられた感情の一つであり、怒るべくことに対して怒るのは当たり前のことだと思われています。あまりに当たり前すぎて、怒ることについて何の疑問も感じません。怒らないという選択肢は初めからないかのようです。



その一方で、私達は皆怒りという感情に振り回されています。つまらないことで怒って、自分自身が嫌になることも度々です。怒りを何とかコントロールできないものかと思いつつも、なかなか容易にはできません。

『人間だから仕方ない、人間というものは起こるものだ』という人がいます。『怒りが、あってこそその人間であり、怒りがなくなると人間でなくなる』とまで言う人もいます。怒りに関する人間のモデルを一つしか知らないのです。

この三種の文字の例えでは、怒りに関して人間のモデルが三つ提示されています。

岩に刻んだ文字のような人とは、私達と同じく、怒りが石に刻み込んだ文字のように消えない人のことです。

砂に書いた文字のような人とは、怒っても怒りが速やかに消え去る人のことです。

水に書いた文字のような人とは、そもそも怒ることのない人のことです。

よく観察してみると、誰もが同じ場面で同じように怒っているわけではありません。同じことをされても、怒る人もいるし、怒らない人もいます。

『人間だから怒っても仕方がない』というのは、他のモデルを知らない人のただの言い訳に過ぎないのではないのでしょうか。

次の研修会でお会いできるのを楽しみにしています。

皆さん、いかがでしたか？
「怒り」をコントロール…

私、少々もやもやしています。
清水さんと問答したい

気分です。

皆様、感想をお寄せください。

K子

編集後記

今年の夏は猛暑と自然災害が次々とやってきて、何か落ち着きませんね。いつもよりだるーい日々だったように思います。

そんな中、オリンピックや高校野球では涙を流さんばかりの多くの感動に浸りました。きっと、見えない所でひたすら頑張つてこられた成果なのでしょうね。

私達も、青少年育成そして私達アドバイザーの幸せのために、これからもますます活動していきましょう。

夏の疲れを出されませんようにお祈りいたします。